

講義コード	11C0111400	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員	小沢 奈美恵	開講期	第2期
科目名	アメリカの文化と社会2 / 比較文化ⅡB				小沢 奈美恵			第2期	
履修前提条件					備考				
授業の目的	<p>この講義では、オバマ政権の時代に焦点を合わせて、映画の中に反映する現代アメリカの表象を読み解いていく。2017年よりトランプ政権に移行したので、その政策の違いなども対比する。</p> <p>映画はフィクションなので、事実がそのままそこに描かれているわけではないが、大衆が求めるもの、メディアが広めたもの、特権階級とメディアの関係などが浮かび上がる。</p> <p>現代アメリカの政治、経済、外交、戦争、宗教、エンターテインメント、テクノロジーの発達、ジェンダー、セクシュアリティ、ファッション、人種、移民、環境など様々なキーワードから、現代アメリカの置かれた状況を考察していく。</p> <p>不幸にも21世紀は、積年のアメリカ外交の結果生じた9.11事件、アメリカ主導のグローバリズムによる格差拡大などの問題で幕を開けた。ブッシュ政権時代には、新自由主義経済の推進とテロとの戦いが行われたが、オバマ政権では、世界はより多極化し、中東からの米軍撤退によって、世界におけるアメリカのプレゼンスが弱まっている。テロとの戦いもハイテク無人機による集中攻撃へと変貌していった。国内でも、オバマケアと呼ばれる医療保険など福祉の充実と国内産業の育成へと政策が変わり、格差拡大を是正しようとしている。エネルギー政策も、中東依存の石油資源から、シェールガス開発など国内資源への転換が行われ、グリーン・エコノミーの時代を迎えた。このようにオバマ政権時代をトランプ政権と対比しつつアメリカ社会と文化について学んでいく。</p>								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オバマ政権時代のアメリカ社会の諸問題を理解し、トランプ政権と比較できる。</li> <li>2. メディア報道・映画と実態の違いを比較することで、メディア・リテラシーの重要性を認識できる。</li> <li>3. 現代のアメリカと世界の問題について、自分の考えを形成できる。</li> </ol>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>この科目では、60時間以上の授業外学修を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次の授業でWebclassを用いた教科書内容理解に関する小テストを行うので、小テストに備えて教科書を読み、準備を行う。</li> <li>2. 毎回、課題のテーマを与えているので、Webclassに3回、コメントの書き込みを行う。</li> <li>3. 授業で紹介する映画や参考書を参照して、より理解を深める。</li> </ol>								
授業計画	<p>【第1回】 授業内容の解説</p> <p>【第2回】 9.11はなぜ起きたのか? 『華氏911』『セプテンバー11』 他</p> <p>【第3回】 CIAとビン・ラディン殺害-ブッシュの戦争からオバマの戦争へ: 『ゼロ・ダーク・サーティ』『アルゴ』 他</p> <p>【第4回】 FBIと対テロ対策: 『インサイドFBI』『J. エドガー』 他</p> <p>【第5回】 アメリカン・スーパーヒーローと軍需産業: 『バットマン』『アイアンマン』『キャプテン・アメリカ』 他</p> <p>【第6回】 戦争犯罪と人権-グアタナモ基地閉鎖: グアタナモ、僕たちが見た真実』 他</p> <p>【第7回】 金融危機: 『ウォール・ストリート』『ウォール街』『インサイド・ジョブ 世界不況の知られざる真実』 他</p> <p>【第8回】 格差社会からの脱却: 『キャピタリズム-マネーは踊る』『タイム』 他</p> <p>【第9回】 大統領選と医療保険改革を巡る政治の駆け引き: 『リンカーン』『シッコ』 他</p> <p>【第10回】 ラテン系移民: 『不法移民と30日間』『ボーダータウン 報道されない殺人者』 他</p> <p>【第11回】 主流白人・アフリカ系・アジア系アメリカ人: 『テッド』『フライト』『ハロルド&amp;クマー』 シリーズ 他</p> <p>【第12回】 ジェンダー・セクシュアリティ・ファッション: 『セックス アンド ザ シティ』『プラダを着た悪魔』『ブロークバック・マウンテン』 他</p> <p>【第13回】 政治と宗教-ユダヤ系ネオコンとキリスト教原理主義: 『ミュンヘン』『ロング ウェイ ホーム』『ジーザス・キャンブ〜アメリカを動かすキリスト教原理主義』 他</p> <p>【第14回】 テクノロジーとメディア: 『The Fifth Estate』『V フォー・ヴェンデッタ』 他</p> <p>【第15回】 環境エネルギー政策の転換: 『ゴジラ』『ザ・シンプソンズ MOVIE』『The 11th Hour』『GASLAND』 他</p>								
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科書内容の小テスト (20%)</li> <li>2. 毎回の授業で提出するコメントの記述 (40%)</li> <li>3. マークシートによる定期テスト (40%)</li> </ol> <p>定期テストだけの受験、或いは、コメントの提出のみでは、最高でも40%にしか達せず、単位を取ることができないので、注意してください。</p>								
フィードバックの内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科書の読解力に関して、小テストを行い、解説します。</li> <li>2. Webclassを通じたコメントの提出3回について評価を行い、学生側からも確認できるようにします。</li> </ol>								
教科書	『オバマの時代』 越智道雄監修、小澤奈美恵・塩谷幸子編集 (明石書店) 2015年								
指定図書	『戦争とプロパガンダ』 エドワード・サイド (みすず書房) 2002年、『9・11-アメリカに報復する資格はない!』 ノーム・チョムスキー (文春文庫) 2002年								
参考書	『9.11とアメリカ: 映画にみる現代社会と文化』 越智道雄監修、小澤奈美恵・塩谷幸子編集 (鳳書房) 2008年								
教員からのお知らせ	扱う映画には、多少の変更が出る可能性があります。質問は授業時、メールなどで随時受け付けます。								
オフィスアワー	金曜2時限								
その他									